

ひやくさい

2019年(令和元年)9月発行 No.99

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者: 代表理事 森元 茂利

編集責任者: 広報委員会

Email: ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



第21回・第22回臨時総代会 報告

理事会新体制が発足!(心を一つに、ふくし生協の経営再建へ)

去る9月1日、第22回臨時総代会が開催され、今期残された1年ほどの運営を担う新たな理事会体制が決まりました。6月開催の通常総代会では、稲月前専務の不祥事をめぐって多くの総代や組合員の皆様にご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

その後の7月28日に開催された役員解任請求の臨時総代会でも厳しいご意見も出されましたが、3名の理事を除く理事の解任が決議されました。その結果、辞任した理事の後任を含めて19名の理事補充選挙が必要となりました。8月22日メ切りで役員選挙公示を行い18名の立候補または推薦があり、いずれの選挙区も定数内であったため、無投票当選となりました。

7月28日及び9月1日開催の臨時総代会についての概要をお知らせいたします。

(文責) 専務理事 森元茂利

「理事全員の解任を求める」 第21回臨時総代会(7月28日)

総代84名の連署による「理事全員の解任を求める署名」が理事会へ提出されたことを受けて、定款

第25条にもとづく「理事解任のための臨時総代会」を開催すること

「役員補充選挙」のための 第22回臨時総代会(9月1日)

を審議しました。解任請求に対して11名の理事からそれぞれ弁明がされ、採決の結果、森元理事、田代理事、萩尾理事を除く8名の理事の解任が可決されました。

臨時総代会の結果、3名を除いて19名の役員補充が必要となりました。定款第19条及び20条と役員

7月28日開催の第21回臨時総代会では、すでに辞任した理事以外の11名の理事に対する解任請求議案

選挙規約にもとづき、第11期の理

事補充選挙を実施しました。

役員選挙管理委員会は、直ちに役員選挙公示を行い、8月22日までに受け付けた立候補または推薦による理事候補は19名となりいずれの選挙区も定数以内でした。

9月1日開催の第22回臨時総代会では、第1号議案「第11期役員補充選挙の件」として18名の理事候補全員が無投票当選として報告、確認されました。

その後、臨時理事会にて役員互選が行われ、理事長代行として松本副理事長が兼務で当たること、専務理事に森元理事が引き続き就任、常務理事として高橋理事、萩尾理事、花田理事が互選されたことが総代会へ報告されました。

また、6月開催の通常総代会で否決された「役員報酬限度額決定の件」及び「議案議決効力決定の件」はいずれも圧倒的多数で可決承認されました。





(選任された新理事の紹介)

新理事会がめざすこと

私たちは、ふくし生協の理念「私たちのめざすもの」の原点に立ち「組合員ファースト」の事業と運営を貫きます。

1.理事の責任を明確にし、組合員に開かれた理事会運営をめざします。

2.経営再建5か年計画を組合員皆の手で作ってこれを成功させます。

3.この間の諸問題を早期に解決し組合員に報告します。

第11期役員就任者

代表理事(専務理事)

森元 茂利 (留任)

副理事長(理事長代行)

松本 憲一 (再任)

常務理事 高橋 繁男 (再任)

常務理事 萩尾 光則 (留任)

常務理事 花田 真人 (再任)

理事 林 禮子 (再任)

理事 田代 直世 (留任)

理事 清水 京子 (再任)

理事 鬼松 一生 (再任)

理事 内角 ひろこ (新任)

理事 小浦 みどり (新任)

理事 藤田 眞弓 (新任)

理事 坂口 佐代美 (新任)

理事 吉田 加代子 (新任)

理事 松本 弦 (新任)

理事 石丸 多美恵 (新任)

理事 藤廣 麻弓 (新任)

理事 菅野 美和子 (新任)

理事 安楽 大輔 (新任)

理事 川東 洋子 (新任)

理事 岩本 義孝 (新任)

理事 井手 森生 (新任)

監事 笹田 毅

監事 竹元 美恵子

第21回臨時総代会発言の概要

◎理事の弁明・解任請求された理事

より、順次発言がありました。

(吉田理事)・弁明のための資料を基に発言。

執行部でもない私の行為がなぜ解任に相当するのでしょうか。解任請求のどれに該当するか全く理解できません。生協法及び定款に基づく理事会運営が重要であり、理事会がチェック機能の役割を果たすために、非常勤理事(地域組合員理事)が半数以上置かれることが必要であると感じています。そして今回のようなことが発生しないよう、チェック機能がはたらく理事会であってほしいと思います。

(木下理事)・弁明のための資料を基に発言。

解任要求の趣旨に対して理事会で初めて議論したのは2月度理事会であり、稲月氏の役員報酬問題を放置した事実はありません。稲月氏の役員報酬の二重取りという不祥事について、このような事態にならないためには本部のチェック体制を強化し再発防止を図ることです。

(毛利理事)・弁明のための文書をもとに発言。

解任の理由が4項目示されていますが、何ら具体的事実の明示はありません。

呼びかけ人及び署名人の主観的な判断・意見でしかありません。解任を求められた私は、この4項目のどの部分に該当し、具体的に事実があると明示されなければ、定款に定められた「弁明」権を行使することは困難です。私が理事として果たすべき責任と義務を怠り、解任すべき事由はどこに該当するのか明示してください。

(萩尾理事)

解任請求の第1項について、稲月氏の役員報酬問題を知ったのは2018年4月、2018年6月に北九州市の市民税が大幅に増えていることに疑問を持ち、個人口座に入金していることがわかりました。事を大きくしてはいけなと考え、理事長に相談したが先送りされ法律論にとらわれていました。多くの理事は理事長の見解に従っていました。1月26日の専務文書が発端となりました。現場職員からも疑問が出されました。解任請求に同意し、総代といっしょに頑張りたい。

(林理事)

解任請求署名に賛成、理事会が機

能不全になっています。理事会と現場が一緒に取り組むことが必要ですが、そうはなっていないません。

報酬問題は真相究明されています。総代会での質問に答えています。説明会をやることになっていないでできていません。報酬問題についての第三者委員会を立ち上げて調査すべきだ。事実はどうなのかを明確にしなければなりません。責任がないとは思っていません。事実に基づいて対処が必要。新しい理事会ではマニフェストを作り、個人のつながりではなく、政策で一致する理事会が必要。

(花田理事)

混乱を招いた事にお詫びします。今の理事会は組合員に向いていません。稲月氏をかばってきた勢力が行き詰まりました。私は、組合員の声を聞くことが力になっています。ヒヤリングの際にも特に感じました。ふくし生協は同じ志を持った人たち、高い理想を持っている組織だと思います。解任請求に賛同し新しい理事会に期待したい。

(田代理事)

私は直方事業所で頑張ってきました。地域の人々とのつながりや職員の頑張りで支えられてきました。今

回の総代会で解任されることになると思います。組合員の思いや願いを受け止めてくれる組織であって欲しいと思います。

(松本理事)

毛利理事の発言で「考える会が非合法組織でふくし生協を破壊してきた」との発言がありましたが、それは当たらない。今回の総代の理事解任請求に対して同意し、新たな組織の再出発が必要と考えます。

(森元理事)

私は、解任請求の内容についての弁明はしませんが、今回、専務理事になって総代会を迎える中で稲月氏の役員報酬問題などについて特別報告としてまとめましたが、皆さんに充分理解を得るための時間が足りなかったことに大変申し訳なく思っています。30数年間、生協・協同組合で働いてきたことをふり返って、またふくし生協20年の発展を支えた多くの組合員、職員の頑張りがあったから今日があると確信しています。

(鬼松理事)

弁明はせず、文書を配布

◎総代からの発言

(遠藤総代)

私たちは誰かに誘導されたわけで

はありません。所長会議での理事の発言に不信を持ちました。なぜ所長会議に出席しているかもわからず、ひまわりの所長の意見や所長の疑問を封じたことに憤りを感じました。

(石田総代)

今回の理事解任請求に反対します。我々が選んだ責任があり、もし問題があるとすれば反省し、次の総代会までに解決することが必要。今回の総代会についての十分な情報を提供して議論し、説明することを求めます。対立する存在を排斥することと納得できません。意にそわない人を排斥すれば同じ事が繰り返されます。

(森田総代)

議案として審議する議案ではありません。発言した理事の人たちの頑張りがあつて今日のふくし生協があります。なぜ、対立しているのか一致点に基づくことが必要。解任は正しくありません。発言を聞きながら決めるべきではありません。6月16日の総代会に出席しましたが、重要な議案討議はされず、前専務の批判や理事会批判に終始しました。

(日下部総代)

2006年から3期、理事をしてそのうち理事長もしましたが、ふく

し生協の思いは当事者や職員を大事にする組織だと思います。私もいろいろな組織で分裂の動きを多く経験してきましたが、ふくし生協に禍根を残すことになるような解任は正しくありません。

(河野総代)

解任に反対します。全組合員の意思ではありません。今回の事態を総代会で初めて知りました。情報が総代や組合員に流れていません。一部の人間で決めてしまうことをやめて欲しい。組織の分裂で将来に禍根を残す事になります。

(矢野総代)

私は何度か考える会の会議に参加しましたが、それは情報を得るためでした。会に参加して理解することができました。今回のことは、鬼松さんが書いた文書を読めばよくわかる、この通りだと思います。

第22回臨時総代会発言の概要

◎第1号議案「第11期役員補充選挙の件」

総代会中に開催された第11期第20回臨時理事会が開催され、役員互選結果について報告がありました。その後、質疑応答がありました。

◎総代の発言(質疑応答)

・ひまわり事業所(稲月総代)

ひまわり事業所からのお願いで
す。ひまわりの職員さんと理事さん
との間でまだ片付いていないハラス
メント問題があります。解決するか
しないかは解らないですが、きちん
と折り合いをつけて気持ち良く働け
るように、これは理事会が積極的に
動いてもらって問題解決をしてもら
いたいと思っています。新しい理事
さんに最初からお願いで申し訳あり
ませんが皆さんよろしく願いま
す。

・青葉支部(永山総代)

先程の稲月さんの発言と同じです
が文言の中の『不適切な事案が発生
した場合』とありますが、ではこれ
まで色んな事が問われてきました。
建築業者との癒着があるのではない
かということや、パワハラ問題だと
か、色んな事が言われてきて、それ
が理事会の混乱を招いていました。
それらの問題について明確な回答が
まだないと思います。この文言の中
では前専務の問題に特化して書いて
おり、これまでの諸問題については
もう解決したかのような書き方だと思
います。それについては今までの
事はもう済んだこととして理事会は

考えていらっしやっているのか?と
いうことを一つお聞きしたいこと
と、それから前回の臨時総代会にて
大多数の総代から、多い人では70名
以上から不適格であると、選出しな
いという事を突き付けられた方々が
今回の補充選挙の中で4名いらっ
しやいます。その臨時総代会の決議
の重さを受け止めてこれからの10カ
月の任期をおこなうのか、それとも
国会議員がよくいう次の選挙で勝て
ばもう襷ぎは済んだという人がいま
すがそれと同じように前回の臨時総
代会の議決についてはもう済んだこ
ととらえていらっしやるのか、ご
意見をお聞きたい。



・ぬくもり支部(井上総代)

ちょうど先程のご意見とも近いこ
となのですが、理事会に対して信頼
ができないのが昨日の日曜日におこ
なわれた創立20周年行事について、
これが果たして本当に連帯で取り組
まれたのかと問いたいと思います。
本来こうした周年行事はどんな事情
があつたとしても決まった以上は全
体で取り組むべきではないか?参加
をしてショックを受けました。例年
それぞれの事業所がおこなっている
ようなお祭りと同じような規模でし
た。そしてそれが(理事会の?)皆
さんがおられて何故取り組めなかつ
たのか?内容がどうであるとはいっ
ていませんが、取り組む姿勢が全然
感じられませんでした。そういう状
態で先程言われたような経営問題な
どの諸問題の解決を一からやる気が
あるのかという気がします。そうし
たことも踏まえて覚悟を持ってやつ
ていただきたい。

森元専務 応答

議案の審議につきましては2号、
3号議案ともに直接関わらないので
すが、皆さんからの貴重なご意見と
して私としては理事会とともに受け
止めていきたいと思ひます。理事会

としてはご指摘いただきました諸問
題が過去のことと、なにもなかった
ということには当然ならない訳で、
きちんと整理をしながら前に向かっ
て団結をして理事会として進めてい
きたいというふうに思っております。
そうした案件については今後の
新しい理事会の中で議論になると
思ひます。先程理事の皆さんをお願
いするに当たって私と理事長代行の
松本とで議論してきた内容がござ
いますので、報告も合わせておこ
なつてこれが今後の理事会に負託し
ていく内容だと受け止めておりま
す。松本理事長代行に交代致しま
す。

松本理事長代行 応答

第11期理事会補充選挙の候補者推
薦にあたって私松本と森元専務と二
人で19名の方を連名共同で推薦しよ
うという文章でありました。推薦に
あたつて候補者の名簿と一緒にこの
ような考え方で、このチームでやつ
ていくという意思を皆さんにお伝え
する為に出した文章です。この文章
の中にはご指摘をいただいた諸問題
について全てを網羅できてはおら
ず、最初にひまわりの稲月総代から
ご意見があつたようなところもある
うかというふうに考えております。

そちらについてはご容赦いただきましたと思います。合わせて永山総代よりもありましたこれまでの不適切ではないかと思われる事例についてどうするのかということや、あるいは前回の総代会での解任議決をどのように受け止めるのかというふうなご意見をいただきました。その前段につきましては本日の資料には入っておりませんが、先程専務理事がおっしゃったように新しい理事会の中で重要な処理案件として取り上げていくという準備をしております。一つは新しい理事会体制を発足するという事でどのような運営をしていくかという課題、二つ目は何と言っても経営を再建しなければならぬという具体的な課題を全力を挙げて取り組むという課題、そして三番目にこの間の諸問題の早期解決と組合員へ報告しなければいけないという課題です。その中に前専務の不適切事案に留まらず、いくつかの役員に関するいくつかの不規則的な事項についての事実確認をおこない、ちゃんと処理をおこなうという事を挙げております。永山総代から出された事案も入っておりますし、ひまわりの稲月総代から出された事案も入っております。そういった事を新

しい理事会の重要な課題として取り上げていく必要があります。それからそれらの事柄についての組合員さんへの報告をどのような場でおこなうのかという点については、特別な場を準備するのか、それとも理事会、事業所長会議、各事業所という運営のラインの中で報告をしていくのか。そうなりますと職員の皆さんには伝わりませんが地域の組合員さんには直接伝わらない、伝える場が無い状態ですので、これについては今後どういった形で皆さんにお伝えしていくのかという事を決定していきたいと思えます。

永山総代から臨時総代会にて解任を受けたにも関わらずまた選出されている方々がいるというご指摘については、この間の総代の皆さんからの解任を求める署名趣意書からすると一旦全員が辞職をして欲しい、そのうえで出直しをして欲しい、一から選び直したいとの趣旨が解任を求める文書の基本であったと受け止めています。

そういった考え方に基づいて一旦辞任したからもう出られないとか、あるいは一旦解任を受けたからもう出てはいけないという考え方には立たないという事で整理をおこないま

したので、御理解をいただきたいと思えます。(下記Q&A参照)

井上総代からのご意見につきましては、前回の日曜日にサンレイクかすやで20周年記念行事の一環としておこなわれた三遊亭圓歌さんの独演会は直接的には約250名の参加でありましたが、それは人気の演者さんであつたということからもあり、必ずしも生協の組合員さんのみの参加に留まらなかったという報告を受けております。確かにこの行事に全ての事業所や支部をあげて参加をしたかというところはなっていないという参加状況であつたと考えております。そういったことをこれまでの経緯の中での結果として受け止めて、今後そういったことではいけないという運営の糧としていかなかなければならないと受け止め、今後の運営にあたっていききたいと考えています。



臨時総代会Q&A

Q・・第21回臨時総代会で役員を解任された理事が、再び第22回臨時総代会で理事になつていますが、どうしてですか？

A・・今回、84名の総代から「全理事の解任を求める」署名が出されました。第22回臨時総代会の際にも総代からの質問が出され、それに対する回答がありました。今回の役員解任請求は理事個人に対する解任請求ではなく、理事会全体に対する請求という特殊な事態となつたのではないかと思います。臨時総代会での議論をふまえて、解任された理事も自ら辞任した理事も含めて再度役員となることを妨げないとの趣旨で役員補充選挙が実施されました。

なお、県庁担当課にも確認したところ、生協法等では解任された理事が再び役員になることを禁止する規定はなく、その法人の判断となるとの見解でした。

こんな時、あなたはどうする?もしも今… 親が、夫が、妻が介護状態になったら…

『もしも』のために知っておきたい介護の仕組みとサービス

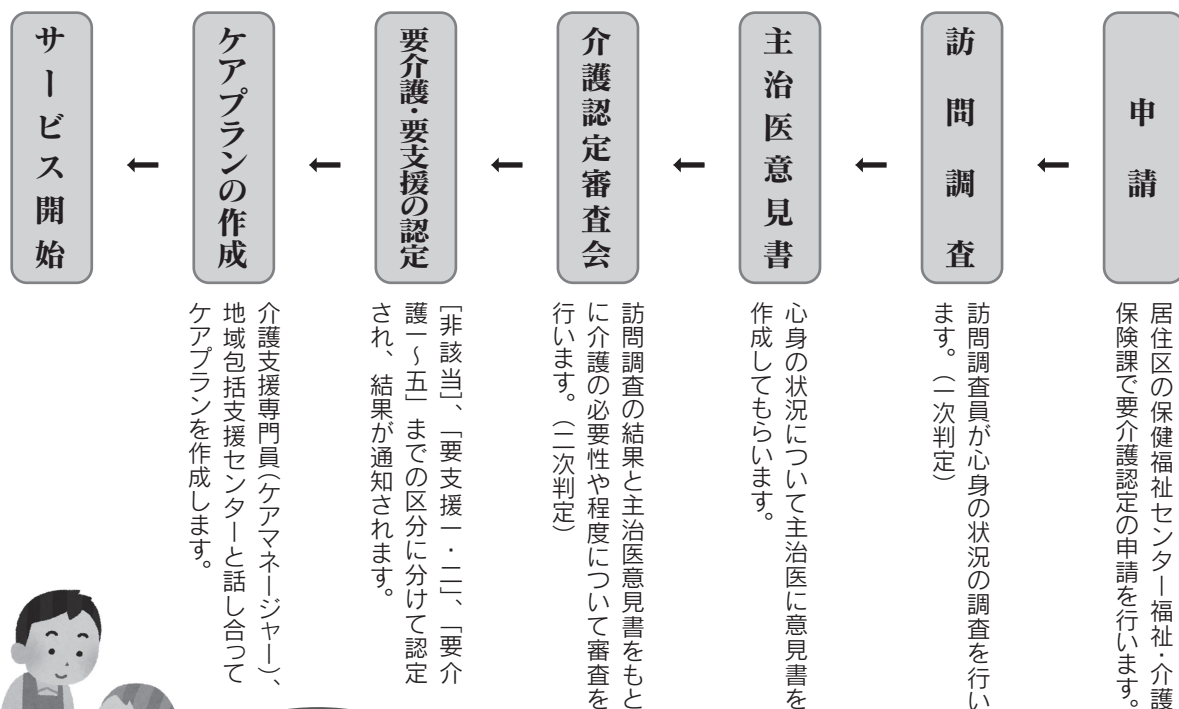
介護が必要になったら
どうすればいいか、
知っていますか?

高齢社会といわれる日本、今、日本では高齢者(65歳以上)の人口が25%を超えるると推測されるように、介護はひとごとではありません。介護サービスを利用するためにはどうすればいいのか、誰もが自分のこととして知っておく必要があるといえるでしょう。もし自分の身近な人が介護を必要とする状態になったら、どうすればいいのか、どこに相談すればよいのかを紹介します。

介護サービスを
利用するには?

介護サービスを利用するには、まずは要介護認定を受けなければなりません。この要介護認定によって要支援・要介護と認定されると、介護保険を利用できるようになります。

要介護認定から介護サービス開始までの流れ



住み慣れた地域で
介護サービスを受けたいナー!!

もしもの
時は…

ぜひ、お近くのふくし生協事業所へご一報下さい。

優しく優秀な職員が対応、ご相談に応じてくれます!!

介護保険を利用できるのは…

40歳以上の人は被保険者となります。その中で、以下の人が介護保険を利用してサービスを受けることができます。

●第1号被保険者(65歳以上の人)

原因を問わず、日常生活を送るために介護や支援が必要と認定された人

●第2号被保険者

(40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人)

老化が原因とされる特定疾病により、日常生活を送るために介護や支援が必要と認定された人

「地域の介護」

シリーズ 庶民の文化物語 漫画の話 No. 3

漫画家は戦争をどう描いたか

手塚治虫・水木しげる・

中沢啓治が描いた戦争

漫画評論家石子順は、「漫画は戦争を忘れない(新日本出版社 2016年)」を。その20年ほど前に、夏目漱石の孫で漫画も描く評論家夏目房之介は「漫画と『戦争』(講談社現代新書 1997年)」を著している。前者は戦前、後者は戦後生まれなので、テーマへの迫り方が異なるが、なかなか面白いので、興味ある方はぜひ手にとってほしい。この二冊に頼りながら、また戦争を描いた作品を紹介しつつ、テーマに迫ってみる。

石子と夏目に共通するのは、当然ではあるが手塚治虫と『ゲゲゲの鬼太郎』の作者水木しげるを重視したところ。しかし、石子は『はだしのゲン』の作者中沢啓治をしつかり論述するが、夏目は対象としなかった。あとがきでは「なぜ中沢を取り上げなかった」のかと不満があるだろうことを認めていた。総花的にな

るのを恐れ割愛したという。

石子は、徹底して反戦平和の視点から漫画を読み解こうとしているが、夏目の視点は漫画の本質的な論述があり、理解するのに追いつかないところが出てくる。ただ、戦後生まれ(私も戦後生まれ)の夏目は、戦争体験が希薄化し中性化していく様を戦後史との関連で「戦争」に迫っている。

空襲下でもペンを離さなかった手塚

さて、手塚治虫には『戦争漫画』傑作選ⅠⅡ(祥伝社新書 2007年)がある。15万ページ(単行本400冊余)の作品の中から「戦争」をテーマにした作品が編集された。いずれも読みごたえ満載だが、「紙の砦」「カノン」はフィクションだが手塚の体験に基づき「戦争」を描いた。戦時中空襲下にあっても、手塚は漫画のペンをはなさず、3000枚の漫画を描きためていたという。「選集Ⅱ」の解説をした石子は、「手塚

は戦争で死んでいった事実を語り、生きたかった思いを描きつづけ、つらい事実を見つめる勇気を持って、戦争をなくそうと訴えている」と記した。

夏目は、手塚が戦時中書き残した漫画の中から「幽霊島」を採りあげ、「思春期の生命力を押し殺し、近い将来、お国のための「死」に投げ入れなければならない。あふれでようとする生命力と、それを断ち切るものの矛盾は、手塚の作家としての源泉だといっている」と読み解く。手塚の初期の漫画「来るべき世界」も手塚の戦争体験の反映だという。

戦地で玉砕体験描いた水木

水木しげるは、19才(1941年)で召集され、最前線に派遣される。代表作「総員玉砕せよ! 聖ジョージ岬・哀話」は、水木の戦友500人が玉砕するまでを描く。その前作「セント・ジョージ岬―総員玉砕せよ」では、玉砕で死ななかった日本兵が、後から送り込まれた友軍に殺される。こうしたさまざまな体験が水木を漫画家にしたという。水木は、1991年、『小学6年生』に「戦争と日本」を発表。「自分は戦争で現地の人の友情で助かるが、その

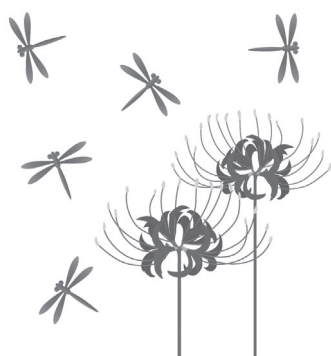
地の族長3人が日本軍に殺されていた」と述べ、「朝鮮での非人間的な行為、中国で行った一千万人以上の殺戮。そうしたことを正直に反省するのが、世界に通用する日本人というものだ」とメッセージを送った。

夏目は「水木マンガは、戦争を正義とする倫理も、世間的善悪も、そんなの馬鹿らしいと言える位相がどこにあるんだよ、という慰安を感じさせてくれる。戦争状態にある国家がいかに愚かであるか、そんなもの自分一個の生命を引き換えるのがいかにつまらないかを、本当につまらない戦争「死」の描写で示してくれた」と記し、国家が勝手に起こす戦争を鋭く批判した。

(次回は中沢啓治が描いた「戦争」)

(つづく)

(記・日下部恭久・東区香椎在住)





ふくし生協創立二十周年 四代目三遊亭圓歌 独演会

8月25日(日) 朝から曇天。猛暑の予想を越えて朝から涼風の恵まれた天候、大雨の心配ないコンディションの中、独演会会場のサンレイクかすやには続々と組合員やその家族が集りました。今回の独演会はふくし生協創立20周年を記念して企画されたもので、20周年記念行事実行委員会が延べ20回の会議を重ねて準備してきたものです。

本物の話芸に場内爆笑!!

13時30分、定刻通りに鳴物入りで四代目三遊亭圓歌氏登壇すると、会場の参加者250名から大きな拍手が湧き起りました。

最初に今は亡き三代目師匠との縁とその師弟の関係、親子以上の深い絆に結ばれたその内容は笑いの中に我々部外者が初めて知る深い師弟愛を彷彿させるのに充分でした。

演者の圓歌氏は、鹿児島県出身であり、同じ九州人の我々としてはその方言を生かした独特の語り口と懐かしい響きに親しく共感できま

ました。

幼少より母子離ればなれの苦労話

の苦労話



の自信とその熟練の技をまざまざと見てとることが出来ました。

独演会は参加者の多くが高齢者である事を考慮してか前座40分、後座40分の2部構成であり、参加者から好評の声が聞かれました。

後座では明治維新の偉人、坂本龍馬や他の賢人達が頻繁に登壇、そのエピソードや活躍ぶり、それに比較した現代の政治家などの愚劣な身の回りの出来事から時事問題まで軽妙な笑いで吹き飛ばしてみせ、聞く我々も爆笑の中にも胸がスク思いがしたのも事実。

終了後、会場内の参加者から「初めてプロの話芸を知ることが出来、久しぶりに大声で笑うことが出来ました。満足しました」の声も聞かれ、今回の催しが成功したことを実感しました。

関係者の皆様方、本当にお疲れ様でした。

(取材・長谷)

には会場はシンと静まりかえり、時折り爆笑を誘うその内容、身ぶり手ぶりの話芸に「プロ」として



(ソーメン流しを満喫)

支部・事業所だより

第4回 けいちく恒例

「納涼ソーメン流し」 200人参加・楽しい一日

去る8月4日(日)、

けいちく事業所恒例の「納涼ソーメン流し」を企画・実施しました。会場はおなじみのけいちくほのぼの村です。

この日、参集したのは周辺の地域からご家族連れや組合員さんら約200名。

この日朝から晴れ。34・8度を記録した猛暑の中、職員・ボランティア関係者が汗だくで諸準備に大忙しのフル回転です。11時、行事がスタ

ートしました。

メイン行事の流しソーメンでは長い青竹製の樋(とい)がプロ顔負けの設備で用意されました。

いよいよソーメンが冷水と共に長い樋の上部から勢いよく流れると、樋の囲りでは子ども達から大人まで歓声をあげて箸で次々とソーメンをすくいあげ、口いっぱい頬ばります。その嬉しそうな顔々。ソーメン流しは完全無料とあって大人気。

しばし後、全員満腹の様子で担当職員・関係者一同は大満足でした。

そのほか、会場内では夏の最中らしく、スイカ割、米すくい等もあって、子どもらには大好評です。ご家族連れ参加者からも「子ども達が喜んでいいる。楽しい企画だ。今後も続けて欲しい」との声も聞かれました。子ども達にも夏休みの楽しい思い出になったことでしょう。

午後2時、第4回目の「ソーメン流し」も盛会の内に終了しました。担当された皆様方(職員・ボランティア・関係者)お疲れ様でした。

※尚、来る10月13日(日)には「第12回ふれあいほのぼの祭り」を開催する予定です。どうぞご家族連れでお越しください。皆様方のご来場をお待ちしております。

(記・鬼松)

読者のエッセイ

我が町ベスト5 (ファイブ)

昔から人が嫌う一つに「自慢話」というのがありますが、ここはひとつお許し願ひ、我が町(博多区比恵町)の良いところ**ベスト5**をご紹介します。

まず**第1**：駅が近い。博多駅まで徒歩15分少々であり、地下鉄東比恵駅までは5分である。従ってデパートも近いし、空港までは一駅である。

次に**第2**：公園が近い。これも5分歩けば「山王公園」である。緑豊かだし、春は花見の名所でもある。

第3：図書館・体育館も近い。山王公園に隣接し、本も読めるし体も動かせる。いわば文武両道が叶うといえる場所だ。

第4：私は日頃、寿司屋・喫茶店は町の「文化」だと思っている。そのひとつ寿司店「寿司幸」がある。

いきつけの寿司幸のご主人はS学院大学卒の2代目であり、話題も豊富で機智に富み、舌代はリーズナブルで味もグッド、酒の旨い店でもある。

ラスト5は：いつも行く喫茶店「公園通り」がある。朝8時より19時の閉店まで常連客が揃い、時間帯によりその顔振れも変わり、年代も現役引退の60代から80代と幅広く、その職種、話題もそれぞれ个性的で面白い。72歳の自分は中堅どころの位置付でしょうか。

ぜひ一度、我が町を訪れてみませんか？喜んでご案内させていただきます。

(博多区比恵町・伊藤 幸雄)

ふくし生協では、 働く仲間を募集しています

「いい人がおるよ!」など地域組合員の
皆様のご推薦もお待ちしております!

●介護スタッフ… ヘルパー2級以上

(未経験、資格のない方も応相談)

●看護スタッフ… 准看護師以上

お給料や待遇など詳細は面談にて。

【お問い合わせ先】 本部事務局 〒812-0025
福岡市博多区店屋町3-23 サカタビル2F
TEL 092-282-1431

読者の声

▼当誌の「シリーズ・人生の高齢期を考える(さいごはひとり)」をいつも楽しみに読ませて頂いており、7月号が最終回ということで一寸淋しいです。一人で出かけたり、一人での楽しみを持ったり、今から一人を練習しています。

(粕屋町・合屋美智子)

▼みんなの文芸広場を拝見して、すごい作品ばかりだと思いました。

(飯塚市・梶本 智美)

▼以前、事業所であった夏まつりに行った時、竹で作ったソーメン流しがあり、とてもおいしかったです。スイカを食べて夫婦で楽しい時間を過ごしま

した。事業所の行事はなるべく参加したいと思います。

(行橋市・古門 文江)

▼シリーズ「人生の高齢期を考える(さいごはひとり)」を読んで一言、一人でいられる時間を持つ???夫婦歴56年、そんなこと考えたこともありません。夫は多趣味。私も時間が足りないほど多趣味でどこにいても誰がいなくても頭の中は常に面白い自分だけの世界デース!!

(水巻町・江上 淑子)

▼先号No.98を読んでとても残念に思った事は、名文・名作の吉野道利氏の「人生の高齢期を考える」シリーズが終ることです。このテーマでこれほど温かく実態を踏まえ、介護事業当事者の人権尊重にあふれる文章を見たり読

これからの主な行事
(2019年度)

1. 9月25日～26日
日本高齢者福祉大会
(福島県郡山市磐梯熱海温泉内)
2. 10月上旬
ミナミ・グラウンドゴルフ大会
(第30回記念大会・皿山公園内)
3. 10月13日(日)
第12回ほのぼの祭り
(けいちく・ほのぼの村10:30～)
4. 11月3日(日)
第4回ほばしら祭り
(八幡東区・ほばしら事業所内)
5. 11月17日
介護実践研修会(北九州)
(午前中:講演、午後:研修会)
6. 2020年3月予定
ケアワーカー集会
(会場・時間・内容は未定)

んだりしたことがないからです。ふくし生協20周年記念のひとつとして、全42回分の出版(ふくし生協文庫)されることを強く要望します。ベストセラ1間違いないと思います。

さて、7月28日開催の臨時総代会に出席しました。理事解任請求は定款に基く権利なので、その行使は当然保障され、それについては真剣に議論されるべきです。しかし、この条文の行使はいわば天下の宝刀ともいえるもので、簡単に行使されるべきではなかったと思います。ましてや団結を疎外することになれば、根を残します。まして、請求された方が解任を容易に容認するなど、少し不思議な感じでした。ただ、議論はふくし生協の発展を願う点では共通していたと思います。

新理事会には「私たちのめざすもの」を基調に、どんなことがあってもねばり強く団結し、理事のための生協ではなく、職員と当事者のためにと只々願っています。

(東区・日下部恭久)

▼「ひやくさい7月号No.98」を読みました。驚いたのは第20回通常総代会の報告記事です。初めて聞く話ばかりで、特に「前専務理事の役員報酬問題」とそれに「2億円赤字の問題」です。「長年続いている赤字、経営検討会が開かれているが問題解決に向っていない」

執筆に感謝!!

▼7年間の長きに亘り連載されたシリーズ「人生の高齢期を考える」も大好評のうちに前回で終了となりました。ご多忙の中、執筆いただいた吉野道利様、本当にお疲れ様でした。厚く御礼申し上げます。また、いつの日か再びお会いしたいものです

(広報委員会)

との直方支部の石田さんの発言は重要ではないかと思いました。2億円の問題は、一朝一夕では解決しないでしょう。しかし、高齢者福祉生活協同組合に集まった一人ひとりが固まって団結すれば必ずまとまる話ではないでしょうか。皆さんの頑張り期待您的します。

(古賀市・松崎 文夫)

▼楽しそうなクロスワードパズルなので挑戦し続けます。

(宗像市・村井志保子)

▼クロスワードパズルは頭の体操になり、色々なことわざや熟語など勉強になります。

(西区・定松フサ子)

▼猛暑が続きますので熱中症には気を付けたいと思います。

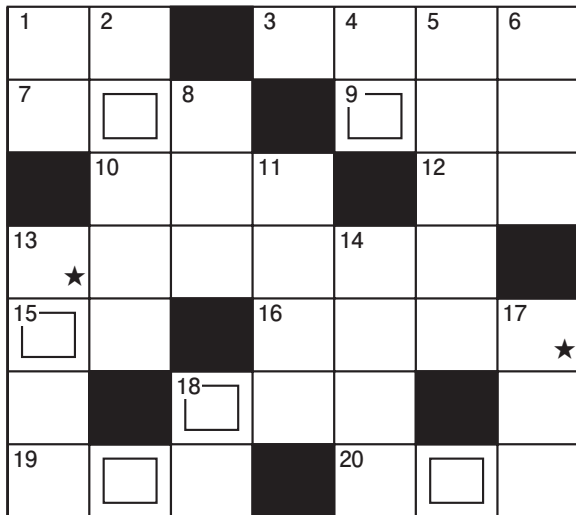
(早良区・永島多佳子)

▼毎号楽しく読ませてもらっています。ありがとうございます。

(南区・奥田 逸子)

クロスワードパズル

49



▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入れてください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違っています。すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べ替えて、(ヒント)にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

日本はますます高齢化社会に
(ヒント)

- 1 病気になると思えます
2 珍しいことや未知のことに興味を持つのはがあるから
3 二つそろって一組
4 灯油や水を入れる容器
5 造園や鑑賞のために庭などで栽培します
6 ある物事につながりを持つこと
7 二定の金額を差し引くこと。配偶者
8 関係を取り持つこと。友好の
9 猫をかむ
10 話し合うこと。親子の
11 陶器などにできる細かい割れ目

- 1 シヤム、ペルシヤ、アビシニアンといえ
2 ば何の種類?
3 小銃のこと
4 急行は止まりません
5 海や湖が陸をえぐるようにしてできた地形
6 貴重品はここに
7 崖から落ちる水の流れ
8 大相撲で勝った力士が行司から受け取るのは?
9 入場や乗車に必要なものは?
10 2文字以上の漢字で書かれる言葉
11 あることをするのに必要なお金
12 気配を消して歩く足
13 衣服の色や柄が同じであること。お
14 のシヤツ

▼第20回通常総代会に出席させて頂き、午後の質疑応答では正義と正義のぶつかり合いに圧倒され、組織運営のむづかしさを目の当りにした気が致しました。今回の件にめげず奮闘される事を願います。

さて私ごとですが「脊椎管狭窄症」との診断を受け、来春の「驚の轉り」を聞くこと叶わず、職を辞することにしました。5年の間、駄文、駄句を「ひゃくさい」に掲載して頂き感謝しております。誠にありがとうございます。

(博多区・伊藤幸雄)

▼今回、10日を過ぎても「ひゃくさい」が届かないのでアレ?と何度も郵便受や職場のメールボックスを確認していたので、郵送された時は嬉しくて、拝読させて頂きました。

過去に「読者の声」に掲載されたことがありますが、組合員さんや職場の同僚等の誰からも「見たよ」とか声をかけられたことはありません。一寸と残念ですが、恐らく皆様方や私の回りの方々は特にお忙しくてそこまで目を通されておられない方がほとんどだと思います。折角なので、たまには

とがありますが、組合員さんや職場の同僚等の誰からも「見たよ」とか声をかけられたことはありません。一寸と残念ですが、恐らく皆様方や私の回りの方々は特にお忙しくてそこまで目を通されておられない方がほとんどだと思います。折角なので、たまには

1とでも良いから見て頂けると、福祉に関することや現在の社会情勢等々勉強になることが沢山あるし「文芸広場」とかは癒されること間違いなし!編集委員に代わって是非一読下さるようお勧めさせて頂きます。

(東区・岡村美智子)

▼人生の高齢期を考える「さいごはひとり」を読んで私の祖母が「死ぬ時はひとり」と言っていました。その祖母も安らかに静かに旅立ちました。

(西区・高見 千秋)

前回の答

1 ヒ	2 ヤ	3 ケ	4 イ	5 ナ	6 カ
7 ゴ	8 ガ	9 ク	10 留☆	11 ガ	12 ク
13 オ	14 ウ	15 ミ	16 ス	17 イ	18 チ
19 □	20 ガ	21 タ	22 キ	23 キ	24 ヤ
25 シ	26 ヲ	27 ク	28 テ	29 キ	30 ヤ
31 タ	32 ダ	33 レ	34 休☆	35 シ	36 シ
37 テ	38 ナ	39 キ	40 ア	41 メ	42 ス

(浴衣姿)

■前回の答は「ユカタスガタ」でした。正解者多数につき、抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。

◆九十八号クロスワードパズル当選者

- ・奥田 逸子さん (南区)
- ・岡村美智子さん (東区)
- ・小路のり子さん (春日市)
- ・梶本 智美さん (飯塚市)
- ・高田 芳信さん (八幡西区)

完成した言葉と「ひゃくさい」の感想などをはがきを書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで10月15日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。



▲ほのぼの消しゴム版画作品
(版: 加治美千代 字: 鶴田輝子)



▲古門文江(行橋市)

ご投稿ありがとうございます。

みんなの 文芸 広場



▲ミナミ・デイサービスの皆さんの壁絵作品



▲江上淑子(水巻町)

投稿俳句と川柳・短歌

俳句

丸山玉枝 (ミナミ・デイサービス)

看護師の 優しさに触れ 希望湧く
猛暑日は デイサービスで 人心地
梅雨入りの 待たれて久し 安堵する
そら豆の 色さわやかに 夏の雲

川柳

好 (ミナミ・デイサービス)

慈雨ありて ダムも田畑も 一段落
ミニトマト 数えるたびに 何故か減り
脳トレを 軽々こなす 高齢者
昼はデイ 帰れば日課 犬散歩
蟬時雨 夫の命日 思い出し

伊藤幸雄 (給食センター)

囲碁将棋 孫に教えて 負かされる
悲しみに 九ちゃん歌う 上を向く
懸命に 生きた自分を 嘆くまい
不確かな 自信持つ程 事故招く
その悪事 天が見ている 恥をくれ

短歌

好 (ミナミ・デイサービス)

久々の 里帰りには 軒止め
抱き枕出し 寝返りふせぐ
友が逝き 次は我身と 思えども
薬あさりて 長寿をめざす

お詫び

読者の皆様方には、いつも「ひやくさい」をご愛読、またご支援を頂きまして誠に感謝いたしております。「ひやくさい」は通常隔月10日刊行していますが、今号(No.99号)も編集作業が遅れてしまい、先号に続く失態をしでかしてしまいました。

言い訳はいたしません、本誌の到着を楽しみにお待ちの皆様方にご心配とご迷惑をおかけしましたこと、まことに申し訳なく重ねて深くお詫び申し上げます。

(広報委員長・長谷)

編集後記

▼ふくし生協創立20周年の節目の年、本来ならこれを祝い皆の笑顔あふれる姿が見られたはず……だったのに、臨時総代会を二度も開催するハメに……。今回の一連の出来事は20年間に亘り、溜り溜り膨れ出たウミなのか？

▼このウミを出し切って、当生協本来の姿に立ち返り、新任の理事を中心に再出発し、「組合員ファースト」の経営再建に向けての取り組みとヤル気が今、試されています。読者の皆様！メゲズに共に頑張りましょう。